

(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(桂坂) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	下館指導 手洗い・消毒の徹底 片付け、ロッカーの整理 昼食・おやつ	グループ帰りで、帰る方向ごとに向かって職員が付き添い、帰り方について指導を行った。年度当初だけでなく、継続して指導していくことが必要。 毎日の生活の中で指導を徹底した。子どもたちが常に意識して心がけていけるように継続した指導が必要だと思う。 自分で出したものを片付け、整理することを帰りの会で伝えている。ロッカーの整理が出来ていない児童もあり、指導を徹底していけるようにしていきたい。 コロナウイルス感染拡大に伴い、黙食と後片付けの徹底を指導した。
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	わくわくデー 学年会議 きりえクラブ・卓球クラブ	新入会の学童児童を対象に、「マンカラ」「オセロ」「卓球」などのルールを伝えて興味を持てるように伝える。 学年のつながりを持たせ、目標を決めて過ごした。また3年生が主となり企画した行事も取り入れた。 児童館でのクラブ活動に対して、自分から興味を持って取り組むように促した。より多くの児童が参加できるようにしていきたい。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	かざらっこONステージ・かつらぎかモール かざらっこONステージ・かつらぎかモール 懇談会・説明会	学童クラブでの取組を紹介することで、保護者の理解を深めていけるように取り組んだ。次年度はより発展した形で継続していきたい。 学童クラブの行事に参加する中で、保護者同士の関係が深まるようにした。今後よりそのような機会を多く取っていききたいと思う。 保護者が集まる懇談会、説明会の機会を利用して保護者同士の関係作りを促進していく。

(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(桂坂) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
(1)生活援助機能 大掃除	1	11	13	8	6	0	0							42	館内清掃を実施	
(2)子ども育成機能 新入生歓迎会	1	21	14	5	7	0	1							48	1年生を迎える会を実施	
学年会議	12	34	84	72	91	4	7							292	学年の目標設定や行事に向けての会議を設ける	
オンライン懇談会	1												16	16	生活について話をする	
ランチデー	3	60	80	35	56	1	3							235	希望制のランチデーを実施	
学童工作	1	11	13	3	10	0	0							37	全員参加の工作を実施。夏のスノードームを作成	
スピード大会	1	0	4	4	13	0	1							22	3年生企画の大会を実施	
学童おたのしみ会	1	14	23	12	8	0	1	4	1	1		2	1	67	地域の方の演奏会を実施	
新春の会	1	8	21	10	11	0	1							51	新年のお祝いに抹茶とお茶菓子をいただく会を実施	
学童カフェ	2	31	50	24	21	1	2							129	3年生が店員になりカフェを実施	
(3)子育て支援機能 入会式	1	21											21	42	1年生を対象に職員紹介などを実施	
下館指導	5	79	102	45	70	4	0							300	職員が各グループに付き添い下館の指導をした	
かざらっこONステージ	1	16	26	8	14	1	1		4					69	139	各自が選んだ演目を保護者の前で発表した
かつらざかモール	1	16	28	14	11	0	1							67	137	ONステージのビデオ上映や子どもの作品展、遊びのコーナーを展開
個人懇談	1													3	3	子どもの様子を保護者へ伝えた
入会説明会	1													102	102	ウェブさくらの使用方法や学童の生活について説明会を実施
新入会説明会	1													28	28	申請の方法について新入会対象に説明会を実施

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること